



ORIENTAL KOSHIN

高压洗浄機

アランドロ
洗ん泥

SAD-1716R

取扱説明書



- このたびは、当社製品高压洗浄機をお買い上げ頂き誠に有難うございます。本製品は、農機・建機・屋外施設や建物等の洗浄を目的とした製品です。
- この取扱説明書には、正しく安全にご使用いただくための注意事項が記載されています。ご使用になる前に必ず本書をお読みになり、使用方法をご理解ください。(誤った使用方法は、事故・ケガの原因となります。)
- 取扱説明書は、何時でも見られるように大切に保管ください。

目次

安全上の注意	1
各部の名称と仕様	5
ご使用になる前に	7
使用方法	11
使用後の注意	16
保守・点検	18
パーツリスト	19
故障と処置	25
アフターサービスについて	26
保証書	

※保証書を大切に保管ください

株式会社 **工進**

安全上の注意

主な用途

- 車・バイクの洗浄、泥落とし。
- 建機・農機の洗浄、泥落とし。
- 厨房・畜舎の洗浄。

注意

この商品の標準的な使用可能時間は約200時間です(保証期間とは異なります)。それ以上のご使用の場合は、保守点検や部品交換が必要となります。
業務目的としては、適しません。

※ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上正しくお使いください。
ここに示した注意事項は製品を正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危険や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は次のように区分しています。

■表示内容を見逃して、誤った使い方をした時に生じる危険や損害の程度を次の表示で「危険」「警告」「注意」に区分し、説明しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

危険

人が死亡または、重傷などを負う可能性が高いと考えられる内容です。

警告

人が死亡または、重傷などを負う可能性が想定される内容です。

注意

人が負傷する可能性及び物的損傷の発生が想定される内容です。



.....この記号はしてはいけない「禁止」の内容です。




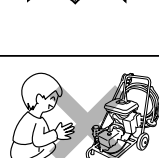


.....この記号は必ず守っていただく「実行」の内容です。

⚠ 危険


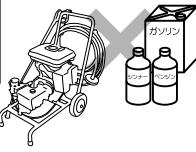

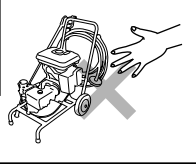


 必ず守る		<p>燃料補給時など燃料取扱時には、火気厳禁。 燃料に引火、火災の危険があります。</p>
 禁止		<p>室内および換気の悪い所では運転しないでください。 エンジンの排気ガス中には、有害な物質が含まれており、ガス中毒を起こす危険があります。</p>
 禁止		<p>くぼ地の脇などで運転される場合は、くぼ地に入らないでください。 エンジンの排気ガスが井戸やくぼ地に流れ込み、ガス中毒を起こす危険があります。</p>
 禁止		<p>傾斜地で使用しないでください。 燃料タンクキャップや気化器から燃料がこぼれ、火災の原因となります。</p>
 禁止		<p>マフラー付近に障害物を置かないでください。 火災や故障の原因となります。</p>
 必ず守る		<p>安全の為、作業中は保護マスク、保護メガネ、保護衣、作業帽、不浸過性の手袋、作業靴を着用してください。</p>
 必ず守る		<p>過労、病気、酒気をおびた人、妊娠している人、その他の理由で正常な洗浄作業が出来ない人は洗浄作業を行わないでください。</p>
 禁止		<p>高圧噴射水は危険ですので、噴射水に触れたり人や生き物に向けしないでください。</p>

⚠ 警告




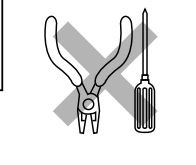

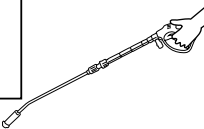




 禁止		<p>本取扱説明書を理解していない人は、洗浄機の操作を行わないでください。 エンジンについては付属のエンジン取扱説明書をお読みください。</p>
 必ず守る		<p>洗浄機に幼児・子供が触れないよう、安全な場所で運転してください。</p>

安全上の注意

警告

 禁止		<p>本機運転中はガソリンやスプレーなど可燃性の物質を本機の近くで使用、放置しないでください。 引火し火災の原因となります。</p>
 禁止		<p>運転中に本機を移動しないでください。運転中や運転直後は、マフラーやエンジン、ポンプ各部に触れないでください。 火災や火傷の恐れがあります。</p>
 必ず守る		<p>本機から離れる場合は、必ずエンジンを停止しガンレバーを握り高圧ホース内の残圧を抜いてください。不意の高圧水の噴射を防止できます。</p>

注意

 禁止		<p>1分以上の空運転はしないでください。 ポンプ破損の原因になります。</p>
 分解禁止		<p>修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。 異常動作してけがをする恐れがあります。</p>
 必ず守る		<p>圧力を急激に上下させたりコックを開閉する時は、洗浄ガンにも強い反動がありますので洗浄ガンをしっかり持ってください。</p>
 必ず守る		<p>付属以外のホース・洗浄ガンなどを使用する時は、本機の仕様要充分耐えるものを使用し、それぞれの取扱説明書に従ってください。 補修部品は必ず純正部品をご使用ください。</p>
 必ず守る		<p>作業中は作業関係者以外の方は機械に近寄らないようご注意ください。</p>

⚠ 注意

 必ず守る		<p>幼児や子供が触れない場所に保管してください。</p>
 禁止		<p>このポンプを清水以外に使用しないでください。 使用出来ないもの：飲料水・泥水・海水・温泉水・灯油・軽油・重油・ガソリン・薬品・酸性／アルカリ性の液体・洗剤等。</p>
 禁止		<p>洗浄用の清水は常温（30℃以下）の清水を使用してください。 加熱された水を使用しますと、ポンプ内部のパッキン類が損傷し、故障の原因となります。</p>
 禁止		<p>洗浄機に物をかぶせたり、洗浄機の近くに燃えやすいものを置かないでください。 加熱して発火する事があります。</p>
 禁止		<p>この洗浄機本体に噴射しないでください。 損傷を起こす原因となります。</p>
 禁止		<p>雨の降っている時や、雷の鳴っている時には、絶対使用しないでください。</p>
 禁止		<p>ポンプ内の凍結による破損を避ける為、使用後は、ポンプ・ホース・洗浄ガンの水抜きを十分に行ない、ホース類は本体より取り外して保管してください。</p>
 禁止		<p>本機を動かす時にホースを引っばらないでください。</p>
 禁止		<p>本機は重量物です。開梱時など持ち上げる必要があるときは、無理に一人で持ち上げたり、無理な姿勢で持たないでください。 腰を痛めたり、機械落下によるケガの原因となります。</p>
 禁止		<p>吐出ホースや洗浄ガンがエンジンやポンプの高温部に触れないようにしてください。 破損する恐れがあります。</p>

〈ラベルのメンテナンス〉

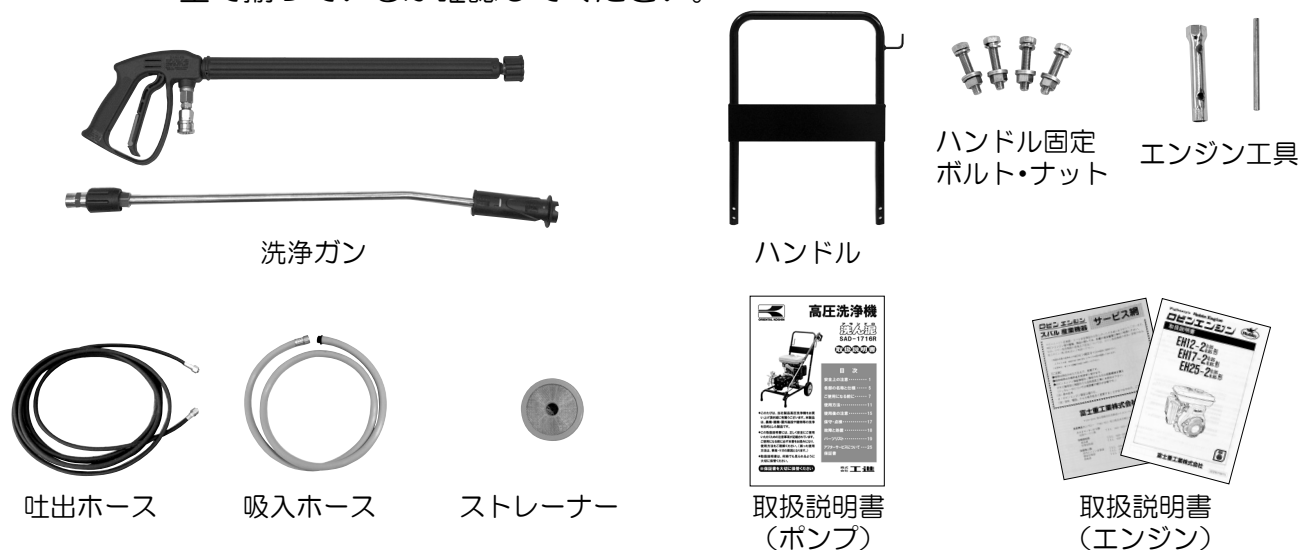
- ・ポンプには、ポンプ銘板および注意ラベルが貼付されています。
- ・ポンプ銘板や注意ラベルが見えにくくなった場合や、はがれた場合にはお買い上げの販売店に注文し、貼りかえてください。

各部の名称と仕様

〈各部の名称〉



〈付属品〉 開梱すると本体と次の様な部品が入っています。
全て揃っているか確認してください。



〈仕様〉

ポンプ	回 転 数	1800rpm	
	最 高 圧 力	17MPa(170kgf/cm ²) ※「フローレギュレーター」※「バリアフルノズル」高圧側時	
	最 大 吐 出 量	16旭/min	
	潤 滑 油 容 量	0.45旭	
エンジン	型 式	ロビン EH25-2B	
	形 式	空冷4サイクル立形単気筒、OHV式ガソリンエンジン	
	総 排 気 量	251cc	
	出 力	定 格	4.7kW(6.4PS)/1800rpm
		最 大	6.3kW(8.5PS)/2000rpm
	使 用 燃 料	自動車用無鉛ガソリン	
	燃 料 タ ン ク 容 量	6.0旭	
	使 用 潤 滑 油	4サイクルエンジンオイル	
潤 滑 油 量	1.0旭		
始 動 方 式	リコイル式		
サイズ(長さ×幅×高さ)※		754×580×804mm	
本 体 重 量		46kg	
標 準 付 属 品		洗淨ガン 1式 吐出ホース(φ9×20m) 1本 吸入ホース(2.5m) 1本 ストレーナー 1個 ハンドル 1本 ハンドル固定ボルト・ナット 4本 エンジン工具 1式	

※サイズ:洗淨ガン、ホース類を除く。

この仕様は予告なしに変更することがあります。

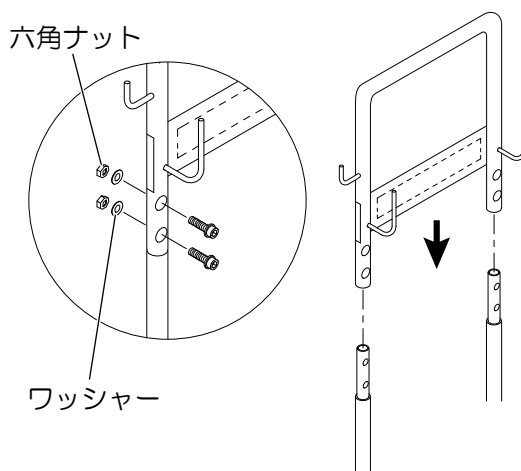
ご使用になる前に

① ハンドルの組み立て

⚠ 注意

手順に従って正しく組立てください。特にネジ部の締付けは確実に行ってください。使用中にネジが外れて思わぬケガをすることがあります。

本体とハンドルは分解された状態で梱包されています。右図のように付属のボルト、ナットでハンドルを本体に取り付けてください。



② 燃料/エンジンオイル

4サイクルエンジンには、エンジンオイルが必要です。

◎工場出荷時には、エンジンオイルは入っておりません。必ずエンジンオイルを入れてから始動してください。エンジンオイルが入っていない状態でエンジンを始動すると、エンジンが焼き付き、修理困難になります。(エンジンの焼き付きは保証外です。)

⚠ 警告

燃料の補給や手入れをする時は火気を近づけないでください。燃料補給タンクから3m以上離れ始動してください。

⚠ 注意

エンジンを始動する前には、エンジンオイルが規定量入っているか確認してください。エンジンオイルは規定量より多くても少なくとも故障の原因となります。

⚠ 注意

エンジンオイル注入時には、付属のエンジン取扱説明書をよくお読みの上、各作業を行ってください。

⚠ 注意

取り扱いを誤ると火災事故の原因となります。火気を絶対に近づけないでください。

⚠ 注意

こぼれた時は、必ずきれいに拭き取ってください。

⚠ 注意

エンジンオイルは作業前に必ず点検してください。また、定期的に交換を行ってください。詳しくは付属のエンジン取扱説明書をご覧ください。

⚠ 注意

エンジンオイルの注油・補給・交換の際は、必ずエンジンを停止してから行ってください。停止直後はオイルの温度が高くなっていますので注意してください。

⚠ 注意

エンジン始動前に必ずオイルゲージが確実に締まっているか確認してください。締め付けが緩いとオイルが漏れることがあります。

燃料は **自動車用無鉛ガソリン** を使用してください。

<p>⚠ 注意</p>	<p>燃料は非常に引火しやすいため、取り扱いを誤ると火災事故の原因となります。給油時は必ず火気を遠ざけ、タバコは吸わないでください。</p>
<p>⚠ 注意</p>	<p>燃料補給の際は、必ずエンジンを停止して、十分に冷却した後行ってください。</p>
<p>⚠ 注意</p>	<p>30日以上前の古い燃料はご使用にならないでください。 エンジンを30日以上使用しない時は、燃料の変質により始動不良や運転不調の原因となりますので、ご使用後は必ず燃料を抜いてください。</p>

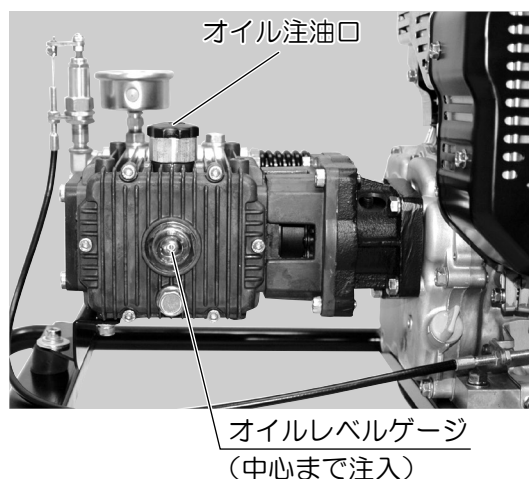
1. オイルの注入

⚠ 警告 ポンプ部分とエンジン部分の2ヶ所にエンジンオイルの注入が必要です。

①ポンプ部への注入方法

水平な状態でポンプのクランクケースにオイルゲージの中央部まで注入してください。

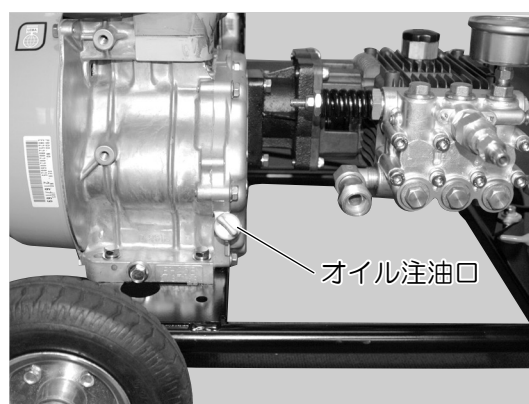
- 注入量 0.45旭
- 推奨潤滑油：4サイクルエンジンオイル
SE級以上、SAE10W-30



②エンジン部への注入方法

エンジンのクランクケースにオイルを注入してください。

- 注入量 1旭
- 推奨潤滑油：4サイクルエンジンオイル
SE級以上、SAE10W-30
(詳しくはエンジンの取扱説明書に従ってください。)

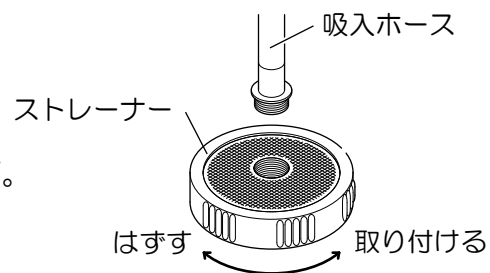


ご使用になる前に

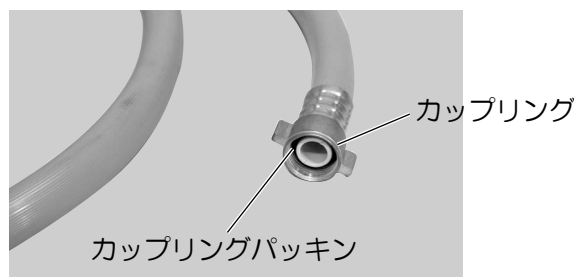
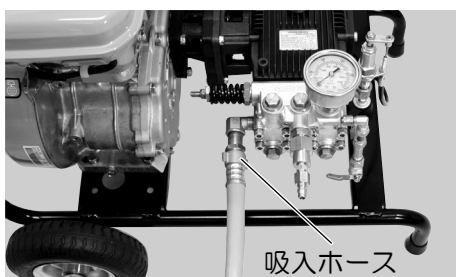
③ ホースの取り付け

1. 吸入ホースとストレーナの組み付け

右図を参照して吸入ホースにストレーナを取り付けます。



2. 吸入ホースにカップリングパッキンが付いているか確認の上、吸入口に確実に手で締め付けてください。

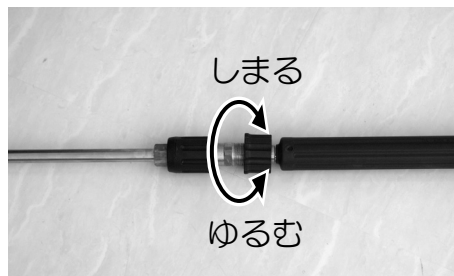
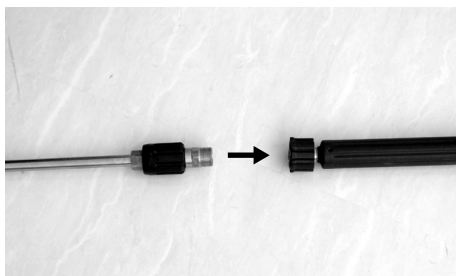


⚠ 注意

ホースを接続するときは、工具等を使用しないでください。
必要以上に締めすぎるとパッキンを損傷します。

3. 洗浄ガンの組み立て

図を参照して洗浄ガンを組み立てます。



⚠ 注意

しっかりと締めつけたことを確認してください。締めつけがゆるいと圧力がかかった時に水もれや接続部が外れケガをする恐れがあります。

4. 吐出ホースと洗浄ガンの接続

右図を参照して吐出ホースを本体と洗浄ガンに接続します。

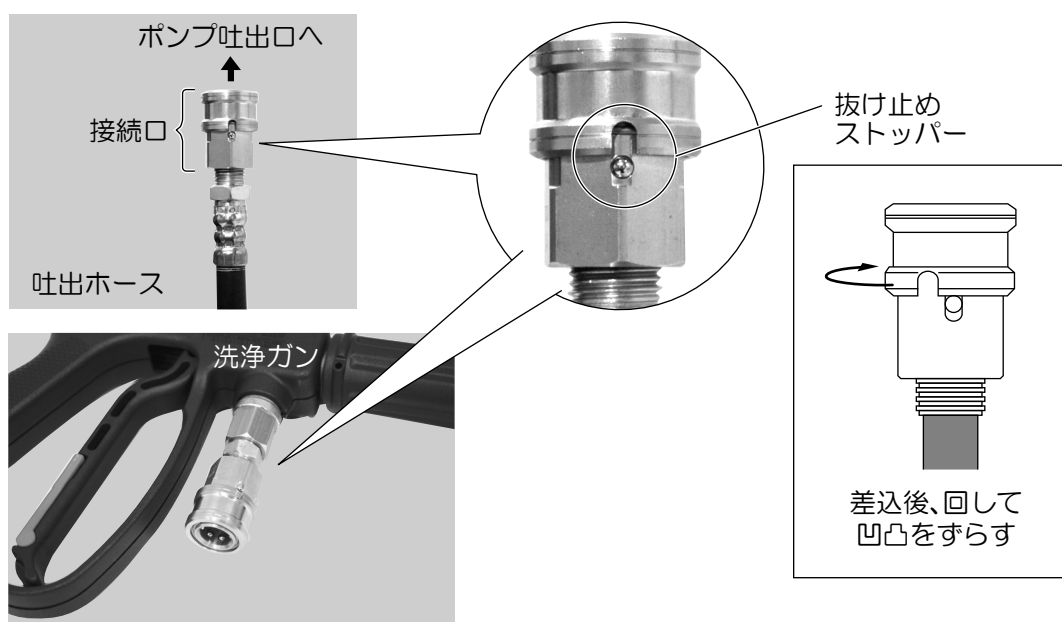
吐出ホースと洗浄ガンの接続口には、抜け止めのストッパーが設けられています。



抜け止めストッパーの凹凸の位置を合わせないと接続できないようになっています。

〈接続の仕方〉

- ① 抜け止めストッパーの凹凸の位置を合わせます。
- ② 吐出ホースの接続口を本体の吐出口に「カチン」と音がするまで強く押し込んでください。
- ③ 抜け止めストッパーの凹凸の位置をずらしてください。
- ④ 同様に洗浄ガンも接続してください。



⚠ 注意

接続部分を引っ張り、ホースが外れないことを確認してください。
接続が不十分であると、事故の原因となります。

使用方法

① エンジンを始動する前に

1. ストレーナーが水の中に入っていることを確認してください。

⚠注意	洗剤を吸入させることはできません。 洗剤液は使用しないでください。
------------	--------------------------------------

⚠注意	吸入する水は清水を使用してください。川の水や砂、異物が混入している水は使用しないでください。性能低下や故障の原因となります。
------------	--

⚠注意	吸入する水は常温(30℃)以下の清水を使用してください。加熱された水を使うと、ポンプ内部のパッキン類を損傷します。
------------	---

2. ガンノズルを1~2秒握り、ホース・ポンプ内部の圧力を抜いてください。
圧力が残っていると、エンジンのリコイルスタータグリップが重く、エンジンがかかりにくくなることがあります。

⚠注意	2~3回スタータを引いて始動しない場合、スタータグリップが重くなる ことがあります。再度ガンノズルを1~2秒握り、圧力を抜いてください。
------------	---

3. ガンレバーをロックしてください。

⚠注意	ガンレバーをロックしていないと、 不意にノズルから噴射する恐れが あり、事故の原因となります。
------------	---



ロック状態



ロック解除



4. 水抜きレバーが閉じているか確認してください。

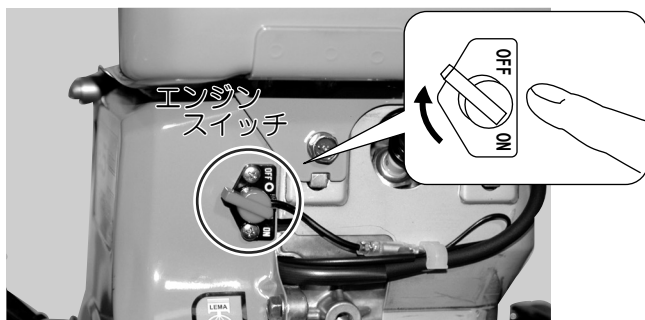
② エンジンの始動



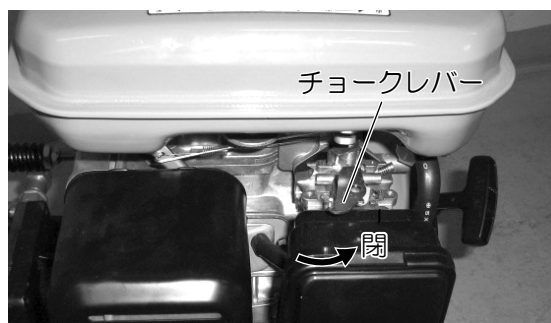
警告

エンジンの排気ガスには、有毒なガスが含まれています。
室内や通気の悪い場所でエンジンを始動しないでください。

1. エンジンスイッチを「ON」にしてください。
2. 燃料コックを開けてください。



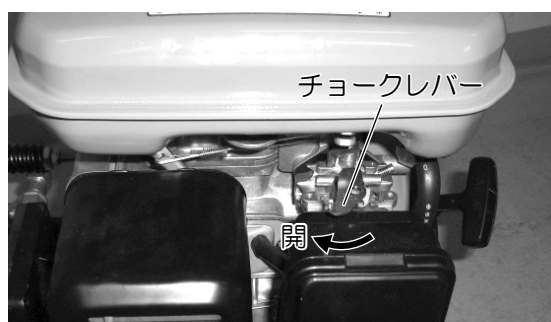
3. チョークレバーを「閉」にしてください。
(夏期は少し開いてください。)



4. リコイルスタータグリップを握り、本機をしっかりと押さえ、いきおいよく引いてください。



5. エンジンが始動したら、チョークレバーを「開」にしてください。



注意

2～3回スタータを引いても始動しない場合は、燃料の吸い過ぎとなり、始動困難になりますので、チョークレバーを「開」にして再度操作してください。

使用方法

③ エンジンが始動したら

エンジンが始動したら各部よりの液漏れがないことを確認し、ガンノズルのロックを外し、作業を開始してください。

⚠ 注意	洗浄ガンのノズルから噴射しない状態で5分以上は運転しないでください。故障の原因となります。
-------------	---

⚠ 注意	エンジンが始動し、ポンプが吸水をすると一瞬エンジンの回転数が上がりますが、異常ではありません。
-------------	---

④ 洗浄作業の開始

⚠ 警告	エンジン停止中であっても、人、動物、本機および家屋等に洗浄ガンの先を絶対に向けないでください。
-------------	---

洗浄ガンのレバーを引くと水を噴射します。洗浄ガンには安全装置がついています。安全装置をロックの位置にすると、噴射できない状態でレバーをロックします。作業をしないときは、誤って噴射することが無いように安全装置をロックの位置にしてください。



⚠ 注意	この洗浄機は、洗浄ガンから噴射している時のみ、エンジンの回転数が上がる機構になっています。
-------------	---

⚠ 注意	最初の数秒間、ホース内の空気が抜けます。反動がきたとき、思わぬ方向へ動くことがありますので、洗浄ガンをしっかり両手で保持してください。
-------------	---

⚠ 注意	ホースが絡まったり、ねじれたりしないように気をつけてください。
-------------	---------------------------------

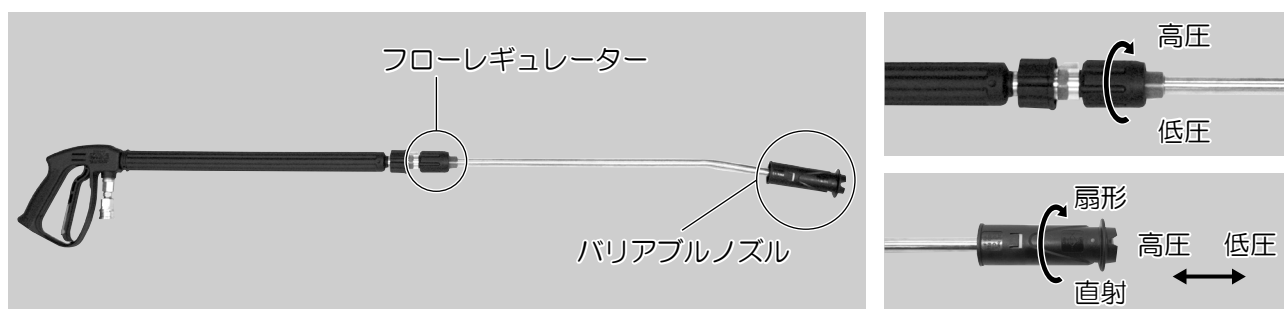
⚠ 注意	洗浄ガンのレバーは絶対にひもや針金等で固定しないでください。手を離せば噴射が停止するように使用してください。緊急時の対応が遅れるのみでなく、洗浄ガンやホースが跳ってケガをしたり、高圧の水を浴びる原因となります。	
-------------	---	--

⚠ 注意	圧力を調整する際は、洗浄ガンのレバーを締切状態にして調整を行ってください。
-------------	---------------------------------------

<p>⚠ 注意</p>	<p>作業中、水が無くなったり、ストレーナーが水面より上に出て空気を吸った後、再び水を足しても水を吸わないことがあります。この場合は水抜きレバーを開けて、ポンプ内の空気を外に出してください。</p>
<p>⚠ 注意</p>	<p>ポンプやエンジンに絡み付いた草などを取り除くときは、必ずエンジンを停止させてください。</p>
<p>⚠ 注意</p>	<p>燃料を補給するときは、必ずエンジンを停止して、エンジンが冷えてから行ってください。</p>

⑤ 圧力・噴射状態(直射・扇形)の調整

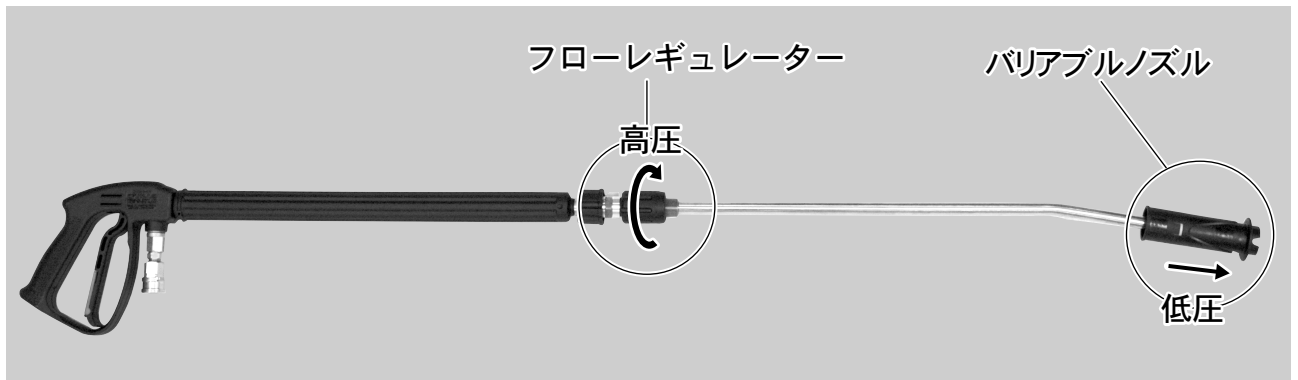
フローレギュレーター、またはバリアブルノズルで圧力や噴射状態の調節ができます。



<p>⚠ 注意</p>	<p>高水圧の為、洗浄物を傷める危険があります。洗浄の際は洗浄物との距離を十分に取り、作業開始時はフローレギュレーターを低圧側、バリアブルノズルを扇形にしておき、様子を見ながら、水圧及びノズルを調節してください。</p>
<p>⚠ 注意</p>	<p>洗浄物にノズルを近づければ、洗浄力が上がる訳ではありません。洗浄力が最も高いのは20～25cmの距離です。</p>
<p>⚠ 注意</p>	<p>堅くこびり付いた汚れ等は水流を弱くしてブラシ等を併用してください。</p>
<p>⚠ 注意</p>	<p>フローレギュレーターが「低圧」側、バリアブルノズルが「高圧」側の時、ポンプの圧力計は一番高い数値(約19～20MPa)を示しますが、異常ではありません。</p>

バリアブルノズルを「低圧」側でご使用される場合について

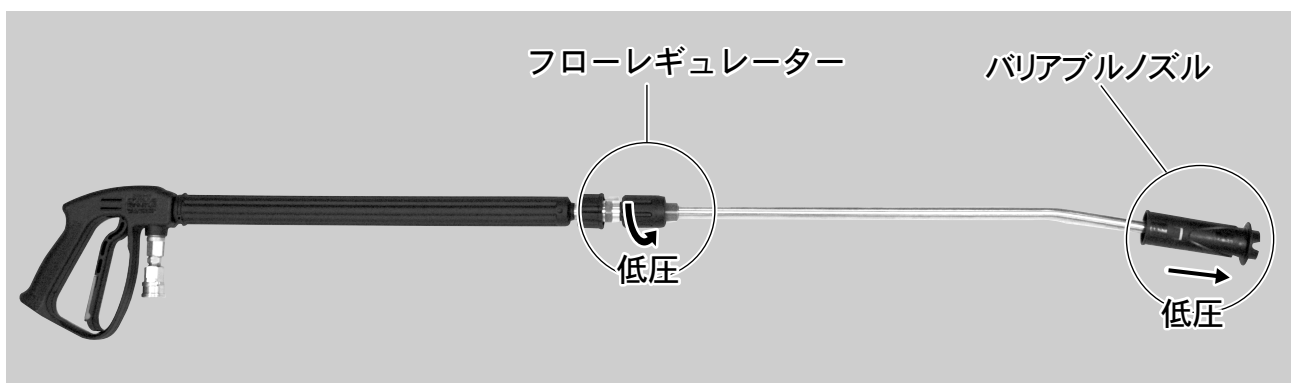
この洗浄機は、洗浄ガンから噴射している時(ガンレバーを握っている時)に、エンジンの回転数が上がる機構になっていますが、フローレギュレータを「高圧」側、バリアブルノズルを「低圧」側にした場合にポンプ内部の圧力が上がらないため、エンジンの回転数が上昇しないことがあります。異常ではありませんのでフローレギュレータを少し「低圧」側に回してエンジンの回転数を上昇させてください。



この状態でエンジンの回転数が上昇しない場合



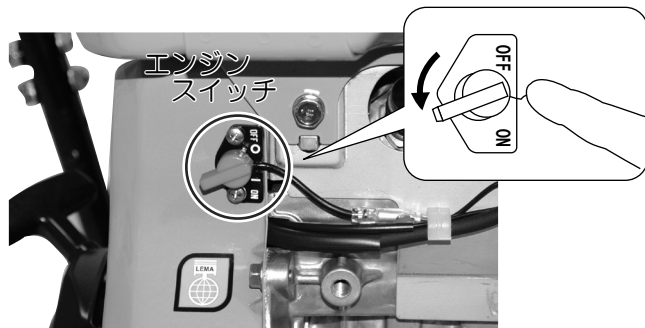
少し「低圧」側へ回す



⑥ 洗浄作業の停止

エンジンの停止

①エンジンスイッチを「OFF」にしてください。



②燃料コックを閉じます。

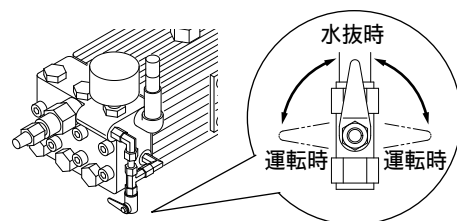


使用後の注意

1. 各部より水漏れや油漏れがないか確認してください。
2. ストレーナーを次回の作業のため、きれいに清掃してください。
3. 使用後の水抜きを確実にしてください。

- 冬期にて0℃以下になりますと、ポンプ内やホース・洗浄ガンに残った水が凍結し、破損する恐れがありますので、使用後は必ずポンプ内、ホース、洗浄ガンの水抜きを行ってください。

- 運転後は吸入ホース・吐出ホース・洗浄ガンを外し、水抜きバルブを開き、水抜きバルブ側に製品を傾けて水を完全に抜いてください。



⚠ 注意



ホースを外す際は、洗浄ガンのレバーを1～2秒握り、ホース・ポンプ内部の圧力を抜いてください。圧力が残っていると、接続口が固くて外れないことがあります。外れた場合でも、水が吹き出すことがあります。

輸送・移動時の注意

洗浄機を輸送・移動するときには、以下の点を守ってください。

- 必ずエンジンを停止してください。
- 洗浄機使用後に輸送・移動するときには、エンジン、マフラーが冷えるまで待ってください。
- 燃料をカラにしてください。
- 洗浄機に衝撃をあたえないようにしてください。

長期保管

 注意	冬期間、水が凍結する恐れのある地域では必ず水抜きを行ってください。
 注意	氷点下(−5℃以下)の場所に保管していた場合に圧力計内のオイルが凍結することがあります。そのまま使用すると圧力計の破損につながるため、使用前に確認を行ってください。

長期保管する前には必ず以下の手順に従ってください。

①水抜き



- ポンプ内、ホース、洗浄ガンの水抜きは、ストレーナーを水から出して洗浄ガンを握り、水が出なくなるまで約5～10秒間空運転をしてください。
(1分間以上の空運転はしないでください。)
- 空運転後は、吸入ホース、吐出ホースを外し、水抜きバルブを開きバルブ側に製品を傾けて水を完全に抜いてください。

②エンジン

- エンジンを30日以上使用しない場合は、燃料を抜いてください。また、エンジン内部に残っている燃料は、低速で運転(空運転不可)して使いきってください。

③その他

- エンジン・ポンプ・洗浄ガンなどに付着した汚れを拭き取ってください。
- エンジンが錆びたり、故障の原因となります。保管時はポンプや洗浄ガンを良く乾燥させ、直射日光の当たらない場所に収納してください。

 注意	直射日光が長期間当たり続けるとホース等が劣化し、洗浄時破裂の原因となります。
 注意	長時間放置しているとタイヤの接地面が変形することがありますが、しばらくお使い頂くと元の形に戻ります。 これはノーパンクタイヤの特性で、異常ではありません。

保守・点検

⚠ 注意

エンジンの点検・整備につきましては、付属のエンジンの取扱説明書に従って行ってください。

1. クランクケースのオイル交換
ポンプのクランクケース部のオイル交換は、第1回目は使用後50時間で、その後は100時間毎に交換してください。
オイルが白く濁ったり汚れている場合は、速やかに新しいオイルと交換してください。
オイルの抜き取りはオイルゲージ下のドレンプラグを外して廃油を抜き取り、抜き終わるとドレンプラグを確実に締め付けて、新しいオイルを注入してください。



クランクケースのオイルはSE級以上、SAE10W-30を使用して交換してください。
※エンジン側のオイルについては付属のエンジン取扱説明書を参照してください。

⚠ 注意

クランクケースのオイル交換は、初回は50時間使用後、以降100時間毎に整備・点検を行ってください。ただし、実際の使用条件や使用回数により必要と判断した場合は整備・点検の回数を増やしてください。

2. 吸入ストレーナーの網目が目詰まりしている場合は清掃してください。また、網目が破れている場合には新しい部品と交換してください。

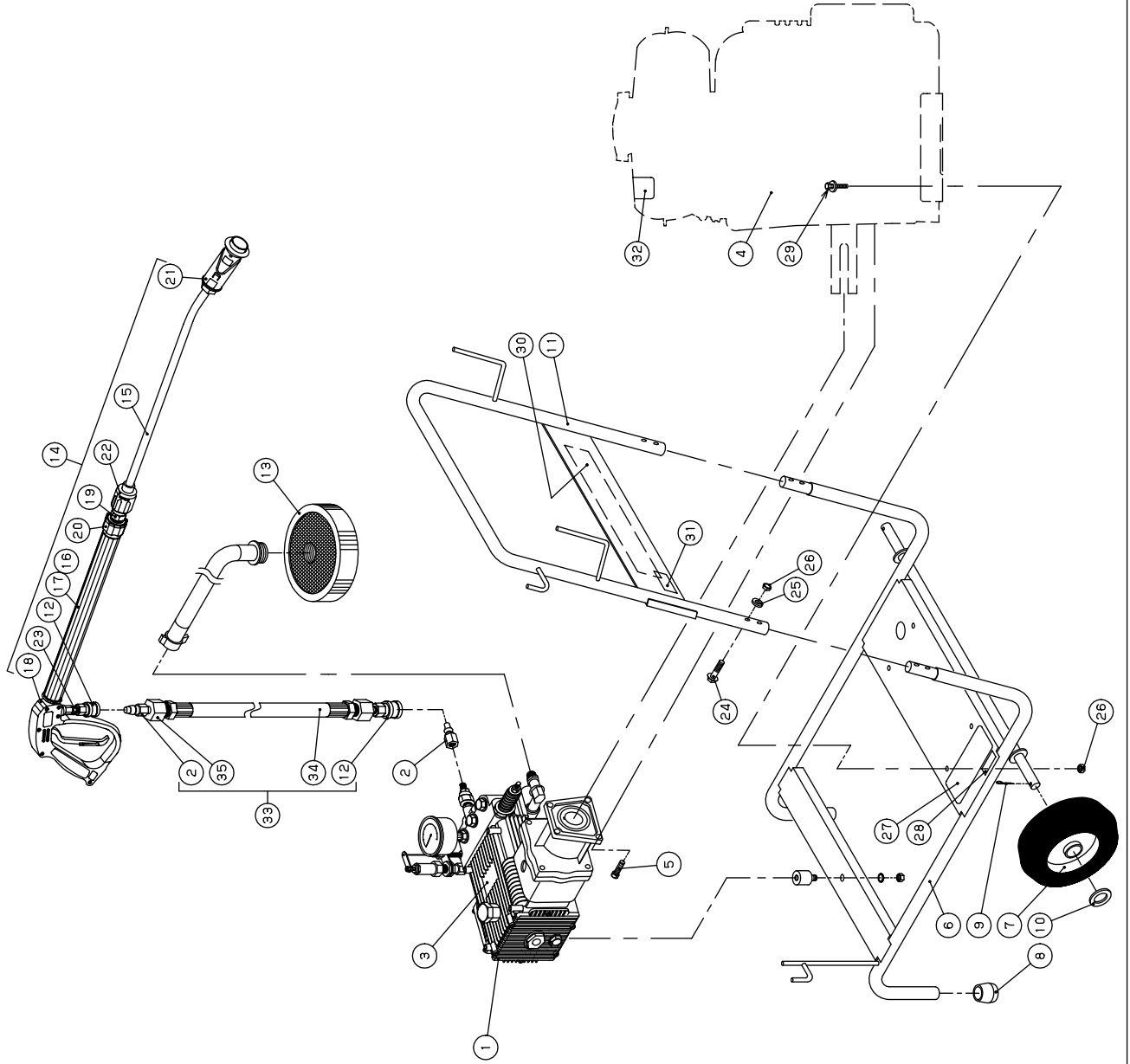
⚠ 注意

ストレーナーは破れた状態で使用すると洗浄ガンや弁に異物が詰まったり、弁やプランジャに傷をつけ故障の原因となります。

3. 吸入ホース、吐出ホース、洗浄ガンなどに傷やヒビ割れがないか確認して、異常があれば修理をするか新しいものと交換してください。その他、作業に関連する器具類にも異常がないか確認してください。
4. 異常などの早期発見のため、機械に薬液や汚水が付着している場合は布などで拭き取ってください。
5. 点検・整備は、十分な広さがあり、安定した場所で行ってください。
6. タバコ、その他の火気は厳禁です。

パーツリスト

SAD-1716R本体 (SAD-1716R-AAA-0)



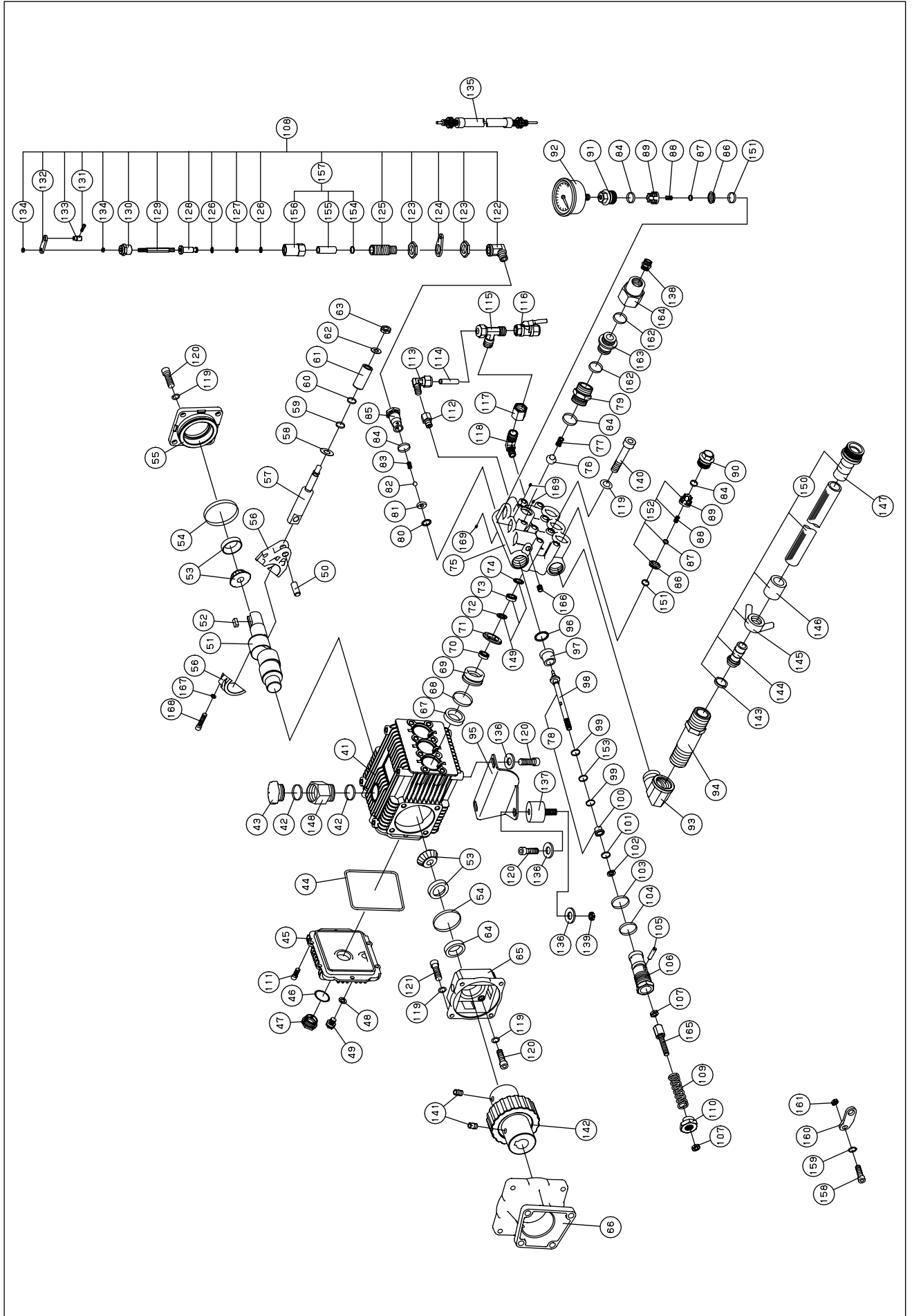
SAD-1716Rポンプクミ (SAD-1716R-AAA-0) 部品表

No.	部品コード	品名	個数	規格・材質	備考
41	059079901	S-1716R クランクケース	1		
42	059080001	S-1716R オイルキャップパッキン	1	22 x 2.5 NBR	
43	059080101	S-1716R オイルキャップ	1		
44	059080201	S-1716R クランクケースカバーパッキン	1		
45	059080401	S-1716R クランクケースカバー	1		
46	059080501	S-1716R オイルゲージパッキン	1	10 x 3 NBR	
47	059080601	S-1716R オイルゲージ	1		
48	059080701	S-1716R ドレンブラグパッキン	1		
49	059080801	S-1716R ドレンブラグ	1		
50	059080901	S-1716R プランジャーピン	3		
51	059081001	S-1716R クランク軸	1		
52	059081101	S-1716R キー	1	8 x 7 x 30	
53	059081201	S-1716R ベアリング	2		
54	059081301	S-1716R ベアリング押エパッキン	2	60 x 4 NBR	
55	059081401	S-1716R ベアリング押エ	1		
56	059081501	S-1716R コンロッド	3		
57	059081601	S-1716R プランジャーシャフト	3		
58	059081701	S-1716R プランジャーワッシャ	3		
59	059081801	S-1716R Oリング	3	7.56 x 1.78 NBR	
60	059081901	S-1716R バックアップリング	3		
61	059082001	S-1716R セラミックピストン	3		
62	059082101	S-1716R ピストンワッシャ	3		
63	059082201	S-1716R ピストンナット	3		
64	059082301	S-1716R クランク軸オイルシール	1	NBR	
65	059082402	S-1716R カップリングカバー	1		
66	059082501	S-1716R 取付ブランジ	1		
67	059082601	S-1716R プランジャーオイルシール	3		
68	059082701	S-1716R Oリング	3	30 x 2.4 NBR	
69	059082801	S-1716R プランジャーガイド	3		
70	059082901	S-1716R 低圧側パッキン	3		
71	059083001	S-1716R パッキン押エ	3		
72	059083101	S-1716R 吸収ワッシャ	3		
73	059083201	S-1716R 高圧側パッキン	3		
74	059083301	S-1716R シートパッキン	3		
75	059083401	S-1716R シリンダー	1		
76	059083501	S-1716R 逆止弁	1		
77	059083601	S-1716R 逆止弁スプリング	1		
78	059086601	S-1716R バイバスクミ	1		
79	059083701	S-1716R 吐出ニップル	1		
80	059083801	S-1716R バイバスクミパッキン	1		
81	059083901	S-1716R バルブシート	1		
82	059084001	S-1716R ボール	1	5/16"	
83	059084101	S-1716R バルブスプリング	1		
84	059084201	S-1716R Oリング	8	15 x 3 NBR	
85	059084301	S-1716R アイドラーブラグ	1		
86	059084402	S-1716R バルブシート	6		
87	059084502	S-1716R ストップパー	6		
88	059084601	S-1716R スプリング	6		
89	059084701	S-1716R スプリングケース	6		
90	059084801	S-1716R バルブブラグ	5		
91	059084901	S-1716R 取付ブラグ	1		
92	059085001	S-1716R 圧力計	1		
93	059085101	S-1716R 吸入側エルボ	1		
94	059085201	S-1716R 吸入側ニップル	1		
95	059085301	S-1716R ポンプブラケット	1		
96	059085401	S-1716R バイバスクミパッキン	1		
97	059085501	S-1716R バイバスクミ	1		
98	059085601	S-1716R バイバスクミ	1		
99	059085701	S-1716R バイバスクミ	2		
100	059085801	S-1716R バイバスクミ	1		
101	059085901	S-1716R バックアップリング	1		
102	059086001	S-1716R Oリング	1	8 x 3 NBR	
103	059086101	S-1716R バックアップリング	1		
104	059086201	S-1716R Oリング	1	19 x 2.4 NBR	
105	059086301	S-1716R バイバスクミ	1	φ3 x 22 S45C	
106	059086401	S-1716R バイバスクミ	1		
107	059086501	S-1716R ナット	1	M8	
108	059086701	S-1716R アイドラークミ	1		
109	059086601	S-1716R バイバスクミ	1		
110	059086701	S-1716R バイバスクミ調整ナット	1		
111	059086801	S-1716R 六角穴付ボルト	6	M6 x 14	
112	059086901	S-1716R バイバスクミ	1		
113	059087001	S-1716R バイバスクミ	2		
114	059087101	S-1716R バイバスクミ	1		
115	059087201	S-1716R 継手	1		
116	059087301	S-1716R 水抜バルブ	1		
117	059087401	S-1716R ジョイントナット	1		
118	059087501	S-1716R 異径エルボ	1		
119	059087601	S-1716R ロックワッシャ	21	M8	
120	059087701	S-1716R 六角穴付ボルト	11	M8 x 12	

※2007年3月現在のものですので、変更される場合があります。

パーツリスト

SAD-1716Rポンプミ (SAD-1716R-AAA-0)



SAD-1716Rポンプクミ (SAD-1716R-AAA-0) 部品表

No.	部品コード	品名	個数	規格・材質	備考
121	059087801	S-1716R 六角穴付ボルト	8	M8 x 20	
122	059087901	S-1716R アイドラーエルボ	1		
123	059088001	S-1716R アウター調整ナット	2		
124	059088101	S-1716R アウターブラケット	1		
125	059088201	S-1716R アイドラー調整ネジ	1		
126	059088301	S-1716R ハックアップリング	2		
127	889855006	リング	1	P6 NBR	
128	059088401	S-1716R アイドラーピストン	1		
129	059088501	S-1716R アイドラーシャフト	1		
130	059088601	S-1716R アイドラーキャップ	1		
131	059088701	S-1716R 六角穴付ボルト	1	M4 x 5	
132	059088801	S-1716R ワイヤー固定ブラケット	1		
133	059088901	S-1716R ワイヤー固定ブッシュ	1		
134	059089001	S-1716R ナット	2	M6	
135	059089101	S-1716R スロットルワイヤー	1		
136	059089201	S-1716R ワッシャー	3		
137	059089301	S-1716R 防振ゴム	1		
138	059089401	S-1716R ホースニップル	1	R1/4 x R1/4 C3801	
139	059089501	S-1716R ナイロンナット	1	M8	
140	059089601	S-1716R 六角穴付ボルト	8	M8 x 80	
141	059089701	S-1716R 六角穴付止めネジ	2	M8 x 10	
142	059089801	S-1716R カップリング	1		
143	059089901	S-1716R カップリングパッキン	1		
144	059090001	S-1716R ホースジョイント	1		
145	059090101	S-1716R カップリングナット	1		
146	059090201	S-1716R カシメキャップ	1		
147	059090301	S-1716R ストレナージョイント	1		
148	059090401	S-1716R オイルブラグ	1		
149	059090601	S-1716R ポンプパッキンクミ	3		
150	0590906101	S-1716R 吸入ホースクミ	1		
151	059090501	S-1716R ハルバパッキン	6		
152	059807002	S-1716R ハルバクミ	6		
153	059090601	S-1716R オリング	1	11.8 x 2.4 VT80	
154	059090702	S-1716R オリング	1	11 x 1.5 NBR	
155	059090801	S-1716R アイドラーブッシュ	1		
156	059090901	S-1716R アイドラーケース	1		
157	059807101	S-1716R アイドラーケースクミ	1		
158	059091001	S-1716R 六角穴付ボルト	1	M5 x 10	
159	059091101	S-1716R ハネ座金	1	M5	
160	059091201	S-1716R アウターブラケット	1		

No.	部品コード	品名	個数	規格・材質	備考
161	059091301	S-1716R ナット	1	M5	
162	059091401	S-1716R オリング	2	9 x 2.5 NBR	
163	059091501	S-1716R 吐出ブラグ	1		
164	059091601	S-1716R 吐出ニップル	1		
165	059091701	S-1716R ハイバスタクリュー	1		
166	059091801	S-1716R スクリューブラグ	1	R1/4	
167	059091901	S-1716R ロックワッシャー	6	M6	
168	059092001	S-1716R 六角穴付ボルト	6	M6 x 35	
169	059092101	S-1716R 六角穴付止めネジ	3	M6 x 6	

※2007年3月現在のものですので、変更される場合があります。

故障と処置

修理をご依頼される前に、いま一度お調べください。

- 使用中に不具合が起きたときには次の表に従って調査の上対策を施してください。
- ご不明の点については、お買い求めの販売店へご相談ください。

不具合事項	原因	対策
吸水しない、 または途中か ら吸水しなくな った	吸入ホースが破損しているか 折れている	破損していたら交換する 折れていたらのばす
	吸入ホースとニップルとの 締付不良またはパッキンの脱落	パッキンの入っていることを 確かめてから充分締めなおす
	ストレーナが 水面から浮き上がっている	浮き上がらないよう固定する
	ストレーナの周りに ゴミが付着している	ゴミを除き清水でよく洗う
	水抜きバルブが開いている	水抜きバルブを閉じる
圧力計のフレ が大きい	ストレーナの周りに ゴミが付着している	ゴミを除き清水でよく洗う
	吸入ホースが折れている	折れを直す
	エンジンの回転にムラがある	エンジンを調整する
	空気を吸込んでいる	ホース金具などを締めなおす 吸入パッキンを確認する
リコイルが 引けない	ホース、洗浄ガンに圧力が残って いる。	ガンレバーを握り圧力を抜く
圧力が 上がらない	バリアブルノズルが「低圧」になっ ている	高圧側に切り替える
	フローレギュレーターが「低圧」になっ ている	高圧側に調整する



持込修理

保証書

保証期間 1年間
(お買い上げ日より)

機種	高圧洗浄機 アランドロ SAD-1716R	※お買い上げ日	年 月 日
保証期間	お買い上げより1年間。但し、1年以内でも累計運転時間200時間を超えるものは除く。	※	〒 住所
お客様	※お名前	販売店	氏名
	※ご住所		〒 住所 電話 ()

※に記入のない場合は無効になりますので必ずご確認ください。

この保証書は本書に明記した期間、条件のもとにおいて、下記記載内容で無料修理をお約束するものです。

保証期間経過後の修理等について、ご不明の場合は、販売店にお問い合わせ下さい。

株式会社 **工進**

京都府長岡京市神足上八ノ坪12

保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きにしたがった正常なご使用状態で故障した場合には、本記載内容に基づき無料修理いたします。お買い上げ日から保証期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただきお買い上げ販売店に修理をご依頼下さい。

修理メモ

- 保証期間内でも次のような場合は有料修理となります。
 - 〈イ〉使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - 〈ロ〉お買い上げ後の落下、運送等による故障または損傷。
 - 〈ハ〉火災・地震・水害・落雷・その他天災地変、公害等による故障または損傷。
 - 〈ニ〉一般家庭および農業用以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障及び損傷。
 - 〈ホ〉本書のご提示がない場合。
 - 〈ヘ〉本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 〈ト〉パッキン類等の消耗品は有料修理となります。
 - 〈チ〉車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障または損傷。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管して下さい。
- この商品は持込修理に限らせていただきます。出張修理はいたしません。
- 本書は日本国内についてのみ有効です。

**製品の修理・パーツについては、
お買い上げの販売店にご相談ください。**

●資料請求は、弊社支店へお問い合わせください。

【北海道・東北地区】

東北支店: TEL.022(388)7678

【信越・関東地区】

関東支店: TEL.048(653)3521

【中部・北陸・関西・四国・中国地区】

関西支店: TEL.075(954)6116

【九州地区】

九州支店: TEL.092(475)3090



ORIENTAL KOSHIN

株式
会社 **工進**

<http://www.koshin-ltd.co.jp>

〒617-8511 京都府長岡京市神足上八ノ坪12

改良のため、予告なく仕様を変更する場合がございます。